

新体制で地域の安全を守る

只見町消防団辞令交付式

4月2日、只見町消防団の辞令交付式が役場で行われ、目黒邦友さん（只見）、三瓶一也さん（寄岩）、梁取克昌さん（長浜）、五十嵐敦彦さん（坂田）に辞令が交付されました。はじめに消防団長の辞令交付が行われ、菅家町長が目黒さんに辞令書を手渡し、続いて副団長の辞令交付では、目黒団長から出席された三瓶さんと五十嵐さんに辞令書が手渡されました。

団長・副団長の任期は4月1日から4年間で、目黒団長は今回で2期目を迎え、副団長の三瓶さんは今回で3期目となり、梁取さんと五十嵐さんは初就任となります。



▲辞令書を受けた目黒団長(中)、三瓶副団長(中右)、五十嵐副団長(中左)

山村教育留学生第17期生

対面式で夢や抱負を発表

4月9日、全国から只見高校へ進学する山村教育留学生第17期生12名の対面式が只見振興センターで行われ、留学生や保護者、町、学校関係者など約50名が出席しました。

対面式では、渡部教育長が「自然豊かな只見町で自分を高める努力を続けてください」と挨拶し、留学生の自己紹介では「英語の先生になりたいので英語の勉強を頑張りたい」、「将来、世界一の南郷トマトをつくりたい」などと学校生活の抱負や将来の夢などが話されました。最後に、菅家町長から留学生へ只見学ガイドブックなどが贈呈されました。



▲夢や抱負を発表した留学生12名

無事故を誓い町民生活を守る

有害鳥獣に対する部隊を編成

4月13日、只見町鳥獣被害対策実施隊及び只見町有害狩猟鳥獣捕獲隊の編成式が役場で行われ、各地区の隊員や関係者など約20名が参加しました。編成式では実施隊員辞令書と捕獲隊員登録証が交付され、隊長の深津和枝さん（大倉）が代表して菅家町長から受け取りました。町長が「町民の生活を守るために1年間よろしく願います」と挨拶し、深津さんが「隊員として法に則り、事故のないよう活動することを誓います」と無事故を宣誓しました。

今年度の隊員数は28名で、任期は4月1日から1年間です。



▲菅家町長に宣誓する深津和枝さん

滞納の無い町を目指して

只見町納税貯蓄組合連合会総会

4月16日、「平成30年度只見町納税貯蓄組合連合会総会」が只見振興センターで開かれ、各地区の組合長などが出席しました。

はじめに栗木豊会長が「納税組合数は年々減っているが守り続けることが重要です」と挨拶しました。続いて、町納税貯蓄組合連合会長の菅家トヨ子さんが10年以上にわたり尽力されたことが称えられ、栗木会長から表彰状などが手渡されました。菅家さんは「これからも完納推進に励んでいきたい」と謝辞を述べられました。



▲栗木会長から賞状を受け取る菅家トヨ子さん

町の自然を守る21名に委嘱

只見町野生動植物保護監視員

4月19日、只見町野生動植物保護監視員の委嘱状交付式が役場で行われ、保護監視員21名に委嘱状が交付されました。

監視員は「只見町の野生動植物を保護する条例」に基づき、野生動植物の不当な採取・捕獲などに対し注意喚起や指導、啓発活動などを行うもので、昨年からは設置されました。

交付式では、出席した保護監視員11名の方々に菅家町長が委嘱状を手渡し、「昨年度の成果としてライトトラップの数が減った。今年度は3名増の体制で只見の自然を守るようご協力をお願いしたい」と挨拶しました。



▲菅家町長(中央)から委嘱状を受け取った監視員の皆さん

伝承産品ブランド化支援事業

平成29年度の成果を報告

4月23日、平成29年度「自然首都・只見」伝承産品ブランド化支援事業の成果発表会と説明会が役場で行われ、事業者などが出席しました。この事業は、伝承産品の技術の伝承、品質・販売情報価値の向上を目指すもので、町が支援を行っています。

発表会では、町産材を活用した「ククサカップ」、山野で採れた果実やマナシで作った「ジャム」、もち米を利用した保存食「凍み餅」の3点について成果報告しました。今回の3点は伝承産品ブランドに認証され、これで全29点が町内のお店などで販売されます。



▲左から「凍み餅」「まるごと山なしジャム」「ククサカップ」

平成30年度の町の事業を報告

「町政報告会」開催

4月24日、町から各区長に今年度の事業内容や連絡事項などの報告を行う「町政報告会」が季の郷湯ら里で行われ、各区長と町当局約50名が出席しました。

報告会では、菅家町長が「新年度を迎え、新しい区長となった方々には町政へのご協力をお願いしたい。また、4月から渡部早苗教育長が就任し、橋本副町長とともに三役体制で頑張りたい」と挨拶しました。続いて、町の組織機構の改革や役場庁舎の暫定移転、担当課長による事業の説明を行い、各区長からは事業への質問が挙げられ、活発な意見交換が行われました。



▲活発な意見交換がなされた町政報告会

今年度の通り抜け事業を確認

八十里越道路暫定的活用検討懇談会

4月25日、国道289号八十里越道路の完成を見据え、只見町と三条市による「第8回八十里越道路暫定的活用検討懇談会」が季の郷湯ら里で行われました。

はじめに行われた講演会では、長岡国道事務所の星野成彦事務所長が、本年3月31日時点での工事進捗率が約84%であることなど工事全体の説明を行い、只見町河井継之助記念館ガイドの五十嵐アツ子さんが「八十里越哀悲」と題して戊辰当時の様子を講話されました。続いて、今年度予定する通り抜け事業10案について協議され、内容について確認されました。



▲懇談会翌日の26日には戊辰150周年事業で設置した標柱巡りが行われました